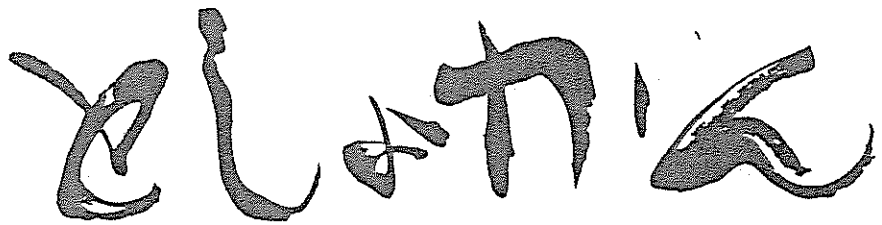


宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明るいまちをつくります。
- 2 きまりを守り、活気あふれる楽しいまちをつくります。
- 3 学ぶことを大切に、文化の薫る美しいまちをつくります。



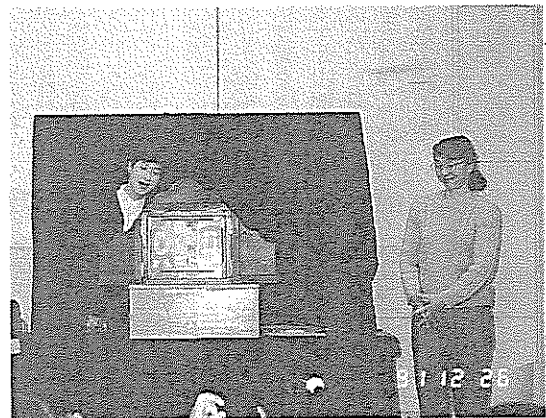
編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 TEL36-0231
宇都宮市立東図書館 今泉町2137番地 〒321 TEL38-5614

平成4年度 冬休みおたのしみ会

親子で、人形劇やおはなしなどを楽しんでもらおうと、毎年この時期に行っています。「宇都宮子どもの本連絡会」の協力で、人形劇やエプロンシアター、工作、スライドによるお話等内容も盛りだくさんです。

午前・午後の部と2回行いますが、どちらの回も百人を超える人出で時間を忘れて楽しんでいただいています。

今年も次の日程で開催します。



(昨年のおたのしみ会)

親子でぜひご参加下さい!!

▽日 時: 12月25日(金)

午前: 午前11時~午後0時

午後: 午後1時30分~3時30分

▽会 場: 市立図書館3階集会室

▽定 員: 各回先着二百名

▽プログラム

※午前の部

○エプロンシアター

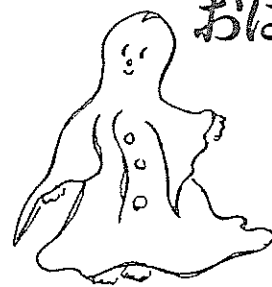
○人形劇

年末年始の休館日とお願い

図書館は、12月28日(月)~新年1月5日(火)までの9日間(東館は27日から)年末年始のため休館となります。

この間に、本を返却する方は、

返却のためのブックポストがありますが、本が破損する恐れがあります。なるべく、図書館が開いてから(6日以降)お持ち下さるようお願いいたします。



おばけのジョージ

ロバート・ブライト著
光吉夏弥訳

スライドによる読み聞かせ

- 折り紙工作
- ※午後の部
- スライドによる読み聞かせ
- エプロンシアター
- テール影絵
- 折り紙工作

冬休み

親子映画会

日時 12月26日(土)

第1回 午前10時30分から

第2回 午後1時30分から

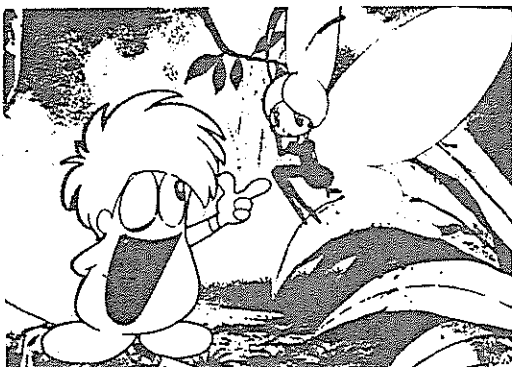
場所 市立図書館3階 集会室

定員 各回100名

入場無料 先着順

題名『星の子チヨビン』総集編
アニメーション・70分

宇宙のかなたの星からやってきた王子チヨビン、トンカラ森のなにかまたとの出会い、友情、そして、悪の一味をたおし、母との再会など。愛と冒険のものがたり。



平成4年度 こどもとこどもの本をつなぐ講座

『自然の中の子ども』

講師 岸田 衿子氏

去る11月29日(日)

宇都宮子どもの本連絡会の協力を得て開催しました。

この講座は、児童文学に携わる人をお招きして、著作のエピソードや子どもの本に関するお話を聞くことにより、より多くの大人に子どもへの関心を持ってもらうことを目的としています。

講師は宇都宮市からの推薦や市民の要望等を参考に決定しますが、今回の岸田衿子氏は市民からの強い要望にこたえてはるばる信州から出かけてくださいました。

岸田氏は講演形式が苦手だそうで、質問を投げかけてもらい、それをきっかけにして話を進める、という形式をとりました。受講者を代表して宇都宮の村山さんに進行をお願いしました。

まず場をリラックスさせるために、詩集『木いちごつみ』の中から二編の詩を朗読してくださいました。妹さん(女優の岸田今日子氏)の評によると、「風船の抜けていくような発声」だそうです。



とても静かで味わい深い朗読でした。

そこから岸田氏の子どもの時代の話に移りました。氏は、東京の下町で生まれ育ちましたが、その時分はまだ自然が多く恵まれた環境だったそうです。少女時代は自然の中で遊び回るのが好きで、それが効を奏したのか、後に結核を患うが大事には至りませんでした。また、中学時代から都会を離れることが多くなり、氏と自然とは切り離せないものとなりました。作品にもそれが現れていると思います。

次の質問に答えて、現在の仕事に就くきっかけを話してくださいました。まずは、東京芸術大学の油絵科に入学したこと。同級生に中谷千代子氏がいたことが、後に『かえってきたきつね』『かばくん』などの名作を生み出すきっかけとなっています。また、その頃結核を患い、療養していた

め、詩や散文を書き始めるようになります。

こうして、子どものための詩や絵本を書くようになりますが、氏によると、子どもの頃の、物を見る驚きは変わらないし、子どもと一緒にいると自分が大人だということをお忘れられるそうで、その辺に、子どものための本を書く資格があるのでは、と自分自身を評価なさっていました。

全体を通じ、岸田氏の自然を愛する心が感じられる会でした。氏の瑞々しい感性を育んだものは自



然と、そこで出会った人たちだという気がします。(例えば、氏に絵の手ほどきをした久里氏、手元に書きためておいた詩を詩集として出版するように勧めた谷川俊太郎氏など。)今後もずっとお元気で、その素晴らしい感性による作品を書き続けてくださることを願ってやみません。

平成4年度 読書会推進講座

合同読書会『涼州賦』を読んで

講師 藤 水名子氏

平成4年12月6日(日)、市立東図書館二階集會室を会場として開催しました。

この講座は今年で二回目ですが「合同読書会」という形をとったのは今回が初めてです。

前半一時間が『涼州賦』(集英社刊)をテキストとした合同読書会。後半が、著者である藤 水名子氏を囲んでのアットホームな会でした。『涼州賦』は一九九一年に第4回小説すばる新人賞を受賞した作品です。その時、藤さんは27歳で、この賞では最年少受賞者となります。参加者はその新進鋭の作家に会える、という楽しみと同時に、郷土の作家(藤さんは宇都宮在住の作家。現在は東京住まい)の今後の活動を応援する意味もあって更に盛り上がったものになったようです。内容は次のとおり。

「合同読書会」

読書会連合会会長の阿久津さんを司会に、感想や意見・疑問等をアトラダムに発言してもらいました。主な感想としては「ストーリー性がありとてもおもしろい」「話がとても映像的である」「舞台である中国のことをよく勉強しているようで感心だ」などがありました。中には「内容はおもしろい



が文学的に見てもっと掘り下げるところがあれば更にすばらしい作品になったと思う」という厳しい意見もありましたが、大方は若い作家の健闘を讃え、今後の活動に期待するといったものでした。

「講演会」

『涼州賦』の著作のエピソードを中心に語られました。藤さんは始終緊張した面持ちでしたが「時代劇が好きでこの作品を書いた」「登場人物の名前を付けるにあたって言葉遊びをした」といったことなどを淡々と語られました。読書会で感想の出た「映像的」ということは、ご本人も自覚して書かれたそうで、そこにテレビ世代らしさが現れていると感じました。質疑応答では「登場人物の尚参」と約狄とはどちらが主人公のつもりで書いたのか? という質問に、作者としては約狄の方に思い入れがある、と答えていました。

ちよつと聞き慣れない雑誌でしよつが…

科学情報コーナー編

東図書館

東図書館では、タイムリーな情報を提供できるように、約五〇〇種類の雑誌を取り揃えています。

なかでも二階科学情報コーナーでは、

日進月歩の科学技術・ビジネス関係を中心に約四〇種類の専門雑誌を揃えています。

知る人ぞ知る専門的な雑誌ですが、こんな雑誌はいかがですか？

「NOMURA SEARCH」

(野村総合研究所)

企業経営に役立つ企画支援情報組織戦略、システム開発などの最先端情報・各種調査機関、官公庁などの最新の文献情報を網羅しており、多角的な情報を求めるビジネスマンにおすすめします。

「日経ビジネス」

(日経BPP社)

経営ノウハウ等経営について、具体的ケースに基づく分析、日経

データベースの協力による計量予測データ、ビジネスウィークをはじめとする海外提携誌より最新の情報を盛り込んだ週刊情報誌です。

「数理科学」

(サイエンス社)

〈現在、諸科学の前線ではどのような変化が起こりつつあるか〉を科学技術・自然科学系の最前線にある人々が詳しく解説します。

「TRIGGER」

(日刊工業新聞社出版局)

いま話題になっている科学技術情報を、ビジネスマン向きに平易に加工、新製品・新技術の紹介など、読んで楽しいハイテク技術が盛りだくさんです。

「インターフェース」

(CQ出版)

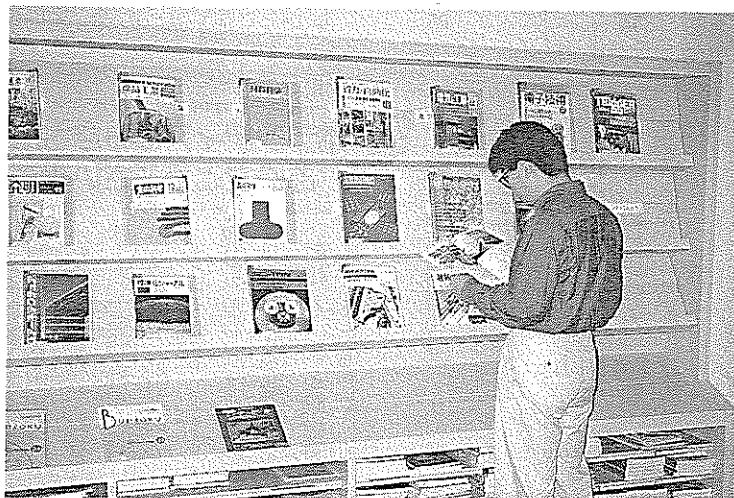
コンピューターシステムをはじめ最新のエレクトロ

ニクス技術の分析、技術動向の把握、具体的応用例の紹介等エレクトロニクスのことならおまかせの専門誌です。

「発明」

(発明協会)

こんなものはいかが？という新技術・新製品の紹介から、特許情報・工業所有権・国際関係条約等発明に関わる問題まで、深く知りたい人のための専門誌です。



「日経メカニカル」

(日経BPP社)

設計、機械、材料、生産システム、ロボット等機械技術に関心を持つ人のための情報誌です。

その他の雑誌として

・TALK

(とちぎ研究総合機構)

・日経アーキテクチュア

・日経エレクトロニクス

・日経ニューマテリアル

(日経BPP社)

・日経サイエンス

(日経サイエンス)

・材料科学 (日本材料科学会)

・省力と自動化 (オーム社)

・現代科学 (東京科学同人)

・センサ技術 (情報調査会)

・電子技術

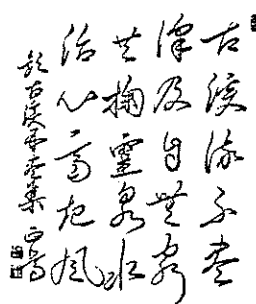
(日刊工業新聞社出版局)

東図書館二階科学情報コーナーをちよつと覗いてみませんか？



郷土資料コーナー

「古溪不盡集」昭和四十三年十一月発行。栃木県あたたため会編集。



安岡正篤先生作
(特に本誌の為に贈る)

題 古溪不盡集

古 溪 流 不 盡

澤 及 自 無 窮

共 掬 靈 泉 水

治 心 齊 起 風

宇都宮市助役5期就任。戦後宇都宮市のまちづくりの土台づくりに尽力され、満九十歳で健在。

古沢共治郎氏の「はだか交友録」とも言うべき、古沢氏の知行合一の行動を余すところなく、紹介している。又、栃木県師友協会会長としても活躍され、特に、「若き人材の発掘と育成」に生涯をかけられている。

題字を贈られた安岡正篤氏は、戦前、戦後を通じて、日本の指導者(政界・財界・官界・マスコミ界等)を育てられた陽明学者。本図書館に蔵書多数。御一読を。

日本古典 文学講座

日時 (1)平成5年1月31日(日)

(2) 2月7日(日)

(3) 2月21日(日)

いずれも時間は、午後1時30分
から午後3時30分まで。

場所 市立図書館3階集会室

テーマ 「和歌の変容」

―万葉・古今・拾遺―

講師 宇都宮大学教授 佐藤 和喜氏

対象 一般市民(た

だし、3回連続して
受講できる方に限ら
せていただきます)

定員 50名

受講料 無料

申し込みは、1月

13日(休)午前9時30分から、電

話又は、直接市立図書館へお

申し込み下さい。☎(36)0231

「おはなし玉手箱

冬休みスペシャル」

冬休みのひととき、おはなしの
世界にタイムトラベルしてみませ
んか。

日時 平成5年1月9日(出)

午後2時から3時半まで

場所 3階・集会室

対象 小学生以上・大人の方

もぜひどうぞ

目 ぐつとがた、

おどっておどって他

第61回 落語会

落語会をのんき亭喜楽一門会
の協力により行ないます。

寄席の模様は、テープに録音し

視力障害者の皆さんに、「声の図
書」として楽しんでいただくため
に、郵送貸出を行っております。

当日は、多くの方々のご来場を
お待ちしております。

入場は、無料です。

日時 一月十七日(日) 午後三時

場所 市立図書館三階集会室

ニュース コーナー

展示会の お知らせ

「宇宙地球号
はいま……」

私達が住む「宇宙地球号」は

いま、エネルギー・人口・環境等
多くの課題を抱えています。そこ
で今回は、安心して生きていける

「環境」の大切さについて展示し
ます。ぜひご覧ください。

一階：宇都宮における実践活動

二階：地球再生計画についての

三階：地球の現況についてのコ

ーナー

期間は1月から4月末日まで。

ボランティアのみなさん ありがとうございます

90巻。

郵送貸出利用状況(9・10

月)

▽点字図書 18人 64冊

▽声の図書 62人 62冊

▽雑誌 57人 674巻

▽墨字本 680人 1089巻

15人 72冊

名誉市民佐藤和三郎氏 寄贈図書コーナー設置

元宇都宮市長で名誉市民である、
故佐藤和三郎氏の蔵書のうち法律
の専門書二百三十二冊を寄贈して

頂きました。大正元年の「不動産
登記法正解」を初め「判例総覧」
等、図書の多くは戦前に発行され

たもので法律の古文書の存在と言
えます。

市立図書館三階の郷土資料の一
角にコーナーを設けましたので、
ぜひご覧ください。

利用案内

○開館時間

午前9時30分～午後7時(ただ
し、児童図書室は午前9時30分
～午後5時)

○休館日

・毎週月曜日

・国民の祝日

・毎月第二日曜日(市立)

・「第四」(市立東)

・図書整理日(毎月初日、ただし
初日が土・日の場合は次の火曜日)

○講座の問合せ・申込みは

それぞれの図書館に電話または
直接どうぞ。

12月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		①	2	3	4	5
6	⑦	8	9	10	11	12
⑬	⑭	15	16	17	18	19
20	⑳	21	㉒	24	25	26
27	㉘	㉙	㊀	㊁		

1月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					①	②
③	④	⑤	6	7	8	9
⑩	⑪	12	13	14	⑮	16
17	⑱	19	20	21	22	23
24	㉕	26	27	28	29	30 31

貸出状況

区 分	4年9月	4年10月
登 録 者 数	170,482	171,674
貸 出 人 数	市 立	14,937人
	市 立 東	12,106
	公 民 館 ・ 地区センター	4,298
	移 動 図 書 館	1,585
	合 計	32,926
貸 出 冊 数	市 立	49,408
	市 立 東	37,589
	公 民 館 ・ 地区センター	13,993
	移 動 図 書 館	8,609
	合 計	109,599

(注) ・登録者数は、開館からの累計数
・公民館には、オンライン化されてい
ない公民館の貸出も含まれています。

○=休館日 □=市立図書館のみ休館 ㊂=市立東図書館のみ休館